

## 会議議事録

|      |   |   |
|------|---|---|
| 会議名  | 第1回学校関係者評価委員会   |   |
| 開催日時 | 2018年6月10日(日) 10:00~11:30   |   |
| 開催場所 | 彰栄リハビリテーション専門学校 会議室   |   |
| 参加委員 | 参加者8名   | 工藤秀機、佐藤太智郎、原島宏明、林導典、小林峻<br>山下輝彦、芦野裕一、長原将士 |
|      | 欠席者1名   | 帆莉猛                                       |
| 配付資料 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2018年度学校関係者評価委員会委員名簿</li> <li>2. 2017年度自己点検及び自己評価報告書</li> <li>3. 2018年度学生便覧及び講義概要</li> </ol>  |   |
| 会議録  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 校長挨拶(山下)<br/>開会の挨拶。</li> <li>2. 理事長挨拶(山下)<br/>理事長欠席のため、校長が代理で挨拶。</li> <li>3. 委員長挨拶(工藤)<br/>工藤秀機先生から挨拶。</li> <li>4. 今年度の報告(山下) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2018年度新入生については、昼間部41名及び夜間部32名であった。昼間部は前年度同様定員を確保できたが、夜間部は定員(40名)を充足できなかった。夜間部の定員確保が、今後の課題となっている。</li> <li>(2) 教育全般については、専門学校の学生は、大学等に比べて基礎学力のレベルに、ばらつきがあると言われている。本校も同様であり、教育のターゲットを絞ることが、大変、難しいという課題を抱えている。作業療法士は、職業的特性として社会的知性が求められている。今後、減少する高校新卒者より、転職にあたり具体的に作業療法士を目指す社会人にターゲットを絞る広報戦略が効を通している。近年、専門実践教育訓練給付金制度にも後押しされ、7割から8割の社会人が入学し、前年度以上の社会人受験者の増加で、ある程度の選抜が可能になっている。社会人入学者の増加は、高校新卒入学者による刺激となり、相互に相乗作用され、全体的に学習能力がレベルアップされていると感じている。反面、社会人入学者が多くなることは、学校や教職員への批判が増し、今後、その点への配慮も必要と思われる。一方、現在施行のコアカリキュラムの設定、到達目標の提示、日本語リテラシー教育等は、ある程度、実を結びつつあると考えている。それに加え、今年度から学力確認試験を行い、補習の必要な学生に前期・昼間部2年生は月曜日2・3時限、前期・夜間部2年生は木曜日2時限及び前期・夜間部3年生は金曜日2時限に行っている。この補習に伴い学習能力の低い学生が、授</li> </ol> </li> </ol> |   |

業についていけるようになり、退学者の減少につながることを期待している。

(3) 臨床実習は、予ねてより多くの課題があると指摘されている。現在においても同様な課題を抱えている。この問題は、本校だけの現象でなく、多くの学生にとっても極めてストレスの多い科目になっている。本校としては、臨床実習指導者会議を2018年6月1日に開催し、実習指導者とできるだけ意思疎通を図るよう努めるとともに、学生の学力向上と社会性向上に向けて指導を行っていきたい。

(4) 国家試験対策は、過去問の系統的学習を中心に、講堂を利用してグループ学習等の新機軸を採り入れて改善を行っている。残念ながら、昨年度の国家試験は、出題問題に間違いもあり、追加合格者(本校1名)が出るような状況で、過去の傾向より少し異なっており、合格率が昨年に比べ低くなった。(全国平均も低い)既卒者については、本校からの受験対策の呼びかけに反応せず、受験だけを行う者がほとんどで、合格率も10%台になっている。そこで、合格の可能性が低い学生には、無理やり卒業させず、合格率アップと退学防止の手段として、学則を変更し、作業療法特論Ⅱの単位のみ未修得のため留年した場合は、当該年度の授業料等を20万円とする変更を行った。

(5) 就職については、相変わらず求人票が多く、前年度も国家合格者全員が、正規職員として採用された。

#### 5. 2017年度自己点検及び自己評価について(山下)

2017年度自己点検及び自己評価(案)が配付され、内容について次回の委員会までに確認を行ってもらい、第2回学校関係者評価委員会において協議することが説明された。

#### 6. 次回の日程について(長原)

次回の日程が提案され、第2回学校関係者評価委員会を2018年8月5日(日)10:00~11:30にて開催することが決定した。

また、詳細については、後日連絡することが確認された。

#### 7. 意見交換

(1) 現在、東京都による指導調査が行われており、教員数等の指導があり、対応をしている。理学療法学科昼間部設置については、その対応後に、再検討する予定である。

(2) 既卒者の国家試験合格率が10%台であることが問題だと思うので、どのように対応していくかを再検討する必要があるのではないか。

(3) 作業療法士の仕事内容を適格に把握させるために、見学実習を増やす等の再検討が必要ではないか。

(4) 今年度、リハビリテーション教育評価機構による第三者評価が実施されるため、現在書類作成を行っている。

#### 8. 閉会